

森事務局長の挨拶

このたび、市民病院の事務局長に就任しました森でございます。市民病院で仕事をするのは2度目で、前は平成6年の旧病院のときから11年まで主に病院建設のスタッフとして新病院の建設に携わりました。

こうしたことから、この病院には非常に愛着があります。当時のスタッフも多く残っており、また一緒に仕事ができるようになって嬉しく思っています。

今、公立病院を取り巻く環境は、診療報酬のマイナスイ政策により、7割を超える病院が赤字になるなど、病院経営は非常に厳しい状況

になっています。当市民病院も平成19年度末で累積赤字が48億円となり、厳しい経営状況になっています。

また、公立病院の多くでは、医師、看護師の不足などの問題がありますが、当院では、十分とは言えませんが、大学との円滑な連携により運営に必要な人員は確保できております。引き続き医療スタッフの確保が最重要課題と認識しております。

こうした厳しい状況を改善するため、平成21年から25年までの5年間の中期経営計画をまとめました。

この計画では、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくため、当院

が地域において果たすべき役割を明確にするとともに、健全経営と医療の質の確保について様々な取り組みを実施していくこととしております。

これからは、この計画に沿って、新しい院長を中心に職員全員で地域の皆様が安心して適切な医療が受けられるよう医療水準の向上に努めるとともに、病院経営の健全化を進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



皆様のご意見ご要望にお答えします

質問

先日、血液検査を行いました。検査結果のデータがほしいです。また、検査項目についての説明書があるというのですが…。

市民病院から

当院では、採血や検尿の結果（検査詳細情報）をお渡しすることが出来ます。ご希望の方は、診察時に主治医にお申し出いただきますと、2階臨床検査部受付にて受け取ることが出来ますので、ご自身の健康管理にお役立てください。

また、検査名の日本語や検査内容を記した「検査結果説明書」もご用意しておりますので、必要の方は、検査結果を受け取られる際にお申し出ください。



公開市民講座

専門医から学ぶアトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎はマスコミでもよく取り上げられ、皆さんよく聞かれる病気の1つだと思います。一方で、アトピービジネスの問題があったり、間違った説が広まったりと混乱の多い病気でもあります。今回、アトピー性皮膚炎について概要をお話したいと思います。長い経過であること、アレルギーの原因は個人個人で様々であること、正しい情報を選択することが重要です。

どんな病気ですか？
どれくらいの人がかかっていますか？

湿疹を主病変とする疾患で、アレルギー的機序と非アレルギー的機序が合わさって発症すると考えられています。ア

レルギーとしては「IgE（アレルギー）に関与する免疫グロブリン」関与と非関与との2つに分けて考えられ、非アレルギーとしては皮膚のセラミドなどのバリア機能の障害が関係しています。最近、フィラグリンという魚鱗鱗（サメハダ）の遺伝子異常が高率に見いだされる事が話題になっています。

罹患率は幼児・小学生の約10%と報告されています。小児においては、多くは乳幼児期に寛解し、多くは成長とともに皮疹の重症度や皮疹の面積は次第に縮小・軽快していきます、思春期以降も湿疹が続くのは10〜20%と言われています。成人においては治療や年齢によって次第に寛解していきます40歳代を超えると半数以上が軽快しています。

どんな症状？

(1)そう痒 (2)特徴的皮疹と分布 (3)慢性反復性経過が診断基準となっています。幼小児期では肘窩・膝窩、成人では顔面から前胸部にかけて好発します。掻爬により皮膚のバリア機能が障害され、各種サイトカインの放出、軸索反射による神経ペプチドの放出などがおこり、痒みと掻破の悪循環に陥ってしまいます。

治療の基本

原因・悪化因子の検索と対策、スキンケア、薬物療法が治療の基本です。外用療法・内服療法・光線療法・減感作療法などが行われています。

スキンケア

清潔のスキンケア・乾燥に対するスキンケア・無用な物理的・化学的刺激を避けることが必要となります。症状により入浴法を考え、バリアを破壊しないことが大切です。乾燥に対しては保湿剤をうまく組み合わせることが重要です。

薬物療法？

外用療法としてステロイド外用剤があります。炎症を抑える作用は強く、局所の副作用に注意しながら、部位・程度・皮疹の状態を考えながら適した使い方をしていきます。また最近では、免疫調整剤の外用剤は適切な使用時期を考えると有用性が極めて高いも

保湿剤の使用方法

- 塗布回数が多いほうが、効果が期待できる。
- 理想的には皮膚表面が乾燥しないように1日4〜5回塗布したほうが良いが、実際は1日1〜3回程度しか塗れないのが現状。
- 入浴直後は角層が水分で膨潤しており、保湿剤の角層への浸透も良いため、すぐに保湿剤をべとつかない程度にたっぷり塗布すると効果的。
- 強くこすると刺激で痒くなることがあるため、なでるように塗る。
- 皮膚の乾燥が軽度の場合は保湿入浴剤を使用し、入浴後は乾燥の強い皮膚にのみ保湿剤を塗ると、時間の短縮になる。

前皮膚科医 高木 肇
(現大垣市民病院医)

のと思っています。
内服治療の基本は抗ヒスタミン・アレルギー剤の内服です。眠気、服用回数、半減期、最高血中濃度到達時間などを考え、選択します。昨年保険適応が認可された免疫調整剤も難治例では考慮します。漢方薬、光線療法なども組み合わせていきます。

認定看護師の紹介

感染管理認定看護師 伴 信義



私は、感染対策専門者として病院安全推進室に所属し、院内の全部署に対し組織横断的に活動しています。感染管理認定看護師として、感染のリスクを最

小限にし、病院に関わる全ての人々を感染から守ることを目的に活動しています。具体的な活動として、院内感染サーベイランス、感染管理教育、コンサルテーション、院内環境巡視と整備、感染症情報の提供、適切な感染対策実施の確認を行っています。感染制御チーム活動として、各部署の巡回を実施し、感染対策上の問題点、抗菌薬の適正使用について、さらに院内感染対策マニュアルの改訂、感染制御の勉強会（全職員対象）、院内感染発生時の対応と対策にあたっています。

感染管理の目的は入院されている患者さんだけでなく、そのご家族や病院内で働く全ての職員を病院感染から守ることです。そのため、当院ご利用の皆さんには、時に面会制限や個室隔離でご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

糖尿病センターがオープン

市民病院では、7月1日（水）に糖尿病センターを開設しました。より専門的な治療による血糖コントロールの改善を目標に、糖尿病専門医と糖尿病療養スタッフで運営します。

開設時間

○糖尿病指導外来

火・水・木曜日：午前8時30分〜正午

○糖尿病教室

木曜日：午前11時30分〜（診察）午後1時30分〜4時30分

（教室Aプログラム）

金曜日：午後2時〜4時20分

（教室Bプログラム）

業務内容

○管理栄養士による栄養指導

○糖尿病療養指導士による指導

○臨床心理士によるカウンセリング

○糖尿病指導外来

○フットケア外来

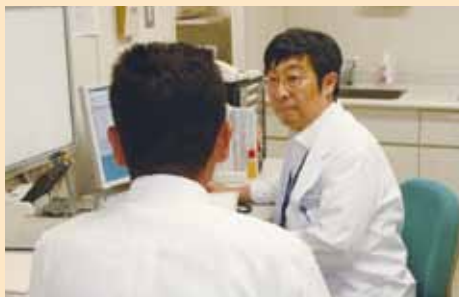
○糖尿病教室

対象

※糖尿病センターは完全予約制です。

診療所・病院からの紹介、または当院専門医の指示が必要となります。

お問い合わせ：医事課（57-0057）



病院ニュース

みんなで楽しんだ七夕会

毎年恒例の七夕会が開催され、入院中の方やご家族の皆さんが楽しいひとときを過ごしました。

西2階の小児病棟では、「母ちゃん一座」の可愛いたまごの紙芝居や松原中学校の学生さんがダンスや寸劇の出し物を披露しました。また、医師や看護学生、研修医の出し物では子どもたちは巨大なしゃぼん玉に歓声をあげていました。

7日には5階デイルームで、脳神経外科と神経内科の合同で開催されました。

参加者全員での「上を向いて歩こう」の合唱のあと、東・西病棟対抗の玉入れを楽しみました。続いて、浴衣姿の医師・看護師も混じっての盆踊り、看護師のフラダンスでは男性看護師の艶やかな姿に会場は大いに盛り上がりました。また、入院患者さんによるコカリナの演奏には全員がうっとりときき入りました。

市民病院の主な行事

9月12日（土）
13：00～15：00
市民公開講座
「新型インフルエンザ」
3階講堂

11月7日（土）
8：30～11：30
市民病院防災訓練
正面玄関・中央ホールほか

